

☆学会発表の告知

【乳酸菌などの食品素材と KT-11 株の組合せで免疫効果アップ！】

2012 年 3 月 27 日～30 日 日本畜産学会で発表予定(名古屋大学)

弊社と国立大学法人 信州大学 大谷 元教授の研究グループは、乳酸菌などが免疫細胞を刺激することで生産される免疫調節物質インターロイキン 12 (IL-12) を、ラクトバチルス・クリスパータス KT-11 株 (KT-11 株)*が促進することを明らかにし、2012 年 3 月 27～30 日に名古屋大学で開催される日本畜産学会において発表いたします。

一般に、乳酸菌、酵母、キノコなどの成分は、免疫細胞のトール様受容体 (TLR) への刺激を介して IL-12 生産を促すことで、抗腫瘍作用、抗アレルギー作用、抗ウイルス作用などの優れた免疫調節効果を導くことが数多く報告されています。

私たちは、免疫細胞に乳酸菌あるいは TLR2 リガンド(TLR2 へ結合する乳酸菌や酵母などの菌体成分)と IL-12 生産に影響を及ぼさない濃度まで希釈した KT-11 株を同時に添加して培養した時に、KT-11 株無添加の場合と比較して IL-12 生産量が有意に高まることを観察しました。また、KT-11 株を添加して培養した免疫細胞において TLR2 の発現が顕著に増加したことから、KT-11 株は TLR2 の発現増強を介して乳酸菌や TLR2 リガンドの免疫調節作用を高めることが示唆されます。

KT-11 株を併用することで TLR2 リガンドを含む機能性食品素材 (乳酸菌、酵母、キノコ、βグルカンなど) の免疫調節効果が高まることから、今後健康補助食品やヨーグルトなどへの利用に期待が高まります。

*ラクトバチルス・クリスパータス KT-11 株 (KT-11 株)

弊社が独自で保有する極めて高い抗アレルギー作用を有する乳酸菌株です。

【発表演題】

Lactobacillus crispatus KT-11 株は乳酸菌および TLR2 リガンドによる IL-12 生産を促進する

☆技術的なお問い合わせについて

バイオ事業部 飛田(とびた)

TEL : 03-5312-5370

E-mail: keisuke_tobita@kitii.co.jp